

重点目標一覧表

担当部局名	上下水道局
-------	-------

【平成28年度重点目標】

【平成29年度重点目標】

重点目標	健全経営による持続可能な事業運営の推進		重点目標	持続可能な事業運営の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	上下水道料金の検討 経営戦略の策定 収納率の向上 水道料金・下水道使用料(現年度分) 水洗化の促進	上下水道審議会への諮問・答申を受け、 現行料金の据え置きを決定 3月に策定 水道99.26%、下水道99.15% 計99.20% 新規接続目標700戸に対し972戸接続 138.9%目標達成	収納率の向上 水道料金・下水道使用料(現年度分) 水洗化の促進 広域連携に向けての研究・検討 経営戦略で定めた事業計画の見直し、ローリング 人材の育成	収納率目標 水道 99.26% 下水道 99.15% 新規接続目標750戸 水道事業運営研究会への参加 全体会1回、4分科会に各2回 計画の見直しと実施計画・予算への反映 外部研修・資格取得研修受講 上下水道技術関係 延べ26人 作業資格取得講習会 延べ10人	
	重点目標	安全でおいしい水の安定供給と真田水道事業の推進			重点目標
2	水源水質検査の強化体制の継続 ・水源の水質検査 ・水質等自動監視設備設置 真田地域簡易水道統合事業の推進 上水道事業統合認可 水安全計画策定	クリプトスポリジウム、指標菌検査完了 上水道3箇所設置完了 延長 目標2.0kmに対し、L=2.2km完了 H29.3月31日認可 8月に策定	水源水質検査の強化体制の継続 ・水源の水質検査 真田地域簡易水道統合事業の推進 新水道ビジョン策定(H29～H30)	クリプトスポリジウム 13箇所 30検体 指標菌 23箇所 112検体 真田町長大日向地区への給水開始 配水池1池、管路L=1.3km H30年度の策定に向けた基礎数値の整理	
	重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新			重点目標
3	上水道管路耐震化 ポンプ場の設備更新 ・久保田ポンプ場の設備更新 ・須川ポンプ場の設備更新 有収率の向上 浄水場及び配水池等の耐震化全体計画策定	延長 目標4.0kmに対し、L=4.1km完了及び施工中 (繰越:H29.7月末完了予定) 久保田ポンプ場の設備更新完了 須川ポンプ場の設備更新完了 有収率 目標87%に対し、84.7% 耐震化全体計画策定(3月策定完了)	上水道管路耐震化 ポンプ場の設備更新 ・上洞ポンプ場の設備更新 ・尾野山ポンプ場の設備更新 腰越浄水場の薬品注入設備更新 有収率の向上 浄水場及び配水池等の耐震診断業務	延長 目標4.0km 上洞ポンプ場 ポンプ2基 尾野山ポンプ場 ポンプ2基 制御盤1面 緩速系フラッシュミキサー 1基 急速系PAC注入設備 1式 有収率 目標86% 上田地域 12箇所 丸子地域 3箇所 武石地域 3箇所	
	重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新			重点目標
4	長寿命化事業の実施 下水道未整備箇所の解消 農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 農業集落排水施設の機能強化事業の実施	3処理場の更新工事完了 1処理場(債務負担)の年度内工事分完了 上田地域:8箇所解消 丸子地域:1箇所解消 3処理場の事前調査委託の実施 3処理場の計画概要書作成	長寿命化事業の実施 新下水道ビジョン策定(H29～H30) 下水道未整備箇所の解消 農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 農業集落排水施設の機能強化事業の実施	2処理場の更新工事の実施 1処理場・1ポンプ場の実施設計 ストックマネジメント計画の策定 H30年度の策定に向けた基礎数値の整理 上田地域:7箇所解消 丸子地域:1箇所解消 3処理場の財産調査の実施 3処理場の実施計画書作成 岡処理場の実施設計	
	重点目標	上下水道技術の継承			重点目標
5	外部研修・資格取得の促進 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施 防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	外部研修・資格取得研修受講 ・水道技術関係 延べ28人 ・作業資格取得講習会 延べ6人 ・下水道技術関係 延べ7人 応急給水訓練 目標2回に対し、4回実施 緊急連絡管操作訓練 目標1回に対し、2回実施	災害時等、緊急時の体制整備 防災訓練の実施	大規模災害を想定したマニュアルの改訂 応急給水訓練 2回 他水道事業者との合同訓練 1回 緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回	

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
<p>・上下水道とも引き続き安全・安心の面を考慮し取り組むこと。・経営戦略の策定についてはリプレースを含め計画的に取り組むこと。公共下水道と農業集落排水の統合、南部処理場の対策はきちんと取り組むこと。・県営水道とは、連携可能な部分は取り組むこと。</p>	<p>・施設、機器の点検等の実施についてもランニングコストを意識して取り組むこと。・各ビジョン策定については、きちんと確立させること。・真田地域簡易水道統合事業は計画的に進めること。・農業集落排水の公共下水道への統合事業は、効率性を住民に理解してもらいながら取り組むこと。・事業継続ができるよう体制を構築するとともに、人材育成にも引き続き取り組むこと。</p>